

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄返還交渉Ⅱ-1（対内）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2020-05-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/45929

V O A

17. 三九一 九三三



北米米一課長

- 1 (大任用) 9.1 府政 府政
- 2 次名
- 3 新編
- 4 官舎
- 5 米一

182-1 2172号
 -202 有 2人
 18-1-1 189後控
 18-1-1 II 77414

18-8
 18-17
 18-25

問 題

在沖繩VOA活動継続の可否に關する問題

昭和四十四年九月一日
外務省アメリカ局

米側より返還後も沖繩に現存のヴォイス・オブ・アメリカ(V

O A) 串懸施設の活動継続についての合意を求め懸しているのに

對する当方態度の決定

(一) 拒否の場合の對米問題 | 特に返還交渉の成否への影響

(二) 受諾の場合の對内問題

三 事 情

(一) V O A 施設二カ所 (詳細別途説明) は規模巨大・設備高値で

移転はきわめて困難 (同施設は太平洋・極東のVOA網にとり

不可欠で、廃止はきわめて困難の由。)

白 同施設は国務省系の米情報庁 (U. S. I. A.) 直轄で、軍施設ではなく、復帰後は地位協定の対象とならない (米側の合意要請も右に因る。なお、英その他各国とは種々協定締結)。

白 放送内容は本國で作成 (現地は中継のみ)、音楽、ニュース及び解説が三本柱、傾向は客観的、中立的といわれる。

三 拒否の場合の問題

白 返還交渉への影響：米側の反応

白 対日反感：日米基本認識及び姿勢の差違への意外感

白 困難：(1) 国務省自体の被害による対軍部、対議会説得力

の低下、(2) 対議会予算要求の困難 (緊縮モード及び返還によ

る出費節約」の脱得遊効果)。四沖繩外移転先確保等の實際
的問題。

(イ) 撤去または移転経費の対日請求が予想される。

(ロ) 返還交渉の他の諸問題との絡み合いによる交渉への悪影響。

(ハ) 当方の決意を要する点

(ニ) 返還交渉の困難(場合によつては長期化)

(ホ) 財政負担(イ)参照、算出困難なるも概略二千万ドルの見込
及び現地の後始末への介入。

(ヘ) 概来日米関係上尾を引くこと、米首脳部の対日精鋭心

受贈の場合の問題！当方の決意を要する点

(四) 内政上の問題

(1) 主として中共関係面での対米協力の非難への対応

(2) 現地反対運動への対応（従来の公害問題は目下おさむね解決

済、目下小蔵中）

(3) 技術的諸問題の解決への協力

(4) 政府が対米約束できるのは活動の継続のみ。

(5) それ以外の土地、電波割当、電波障害等は既存法令、私法

上の契約及び要すれば特別立法の枠内で解決。

三 諸否いずれの場合でも対米交渉上のタイミングについての問題

点

四 外務大臣謝米の際

先方より触れてくれば、「目下検討中」(米側資料未提出の

事情もある。(一)としておくことも一法。

白 総理訪米前

- (四) 拒否の場合一なるべく早い時期に判然とさせることとし(一)し。
- (五) 受諾の場合は、先方の出方に応ずることしかるべし。